



速報版 東金市消費者行政活性化シンポジウム

2013年2月17日(日) 午後1時30分～午後3時45分

消費者行政充実ネットちばでは、千葉県の消費生活の安定および向上に向けた県民提案事業を利用して、県内各地の市町村で消費者行政活性化シンポジウムを行ってまいりました。

本日は今年度最後の事業として東金市に於いて

「悪質商法撃退！市民の絆で消費者被害をなくそう！～安全・安心が魅力の住みよい東金市へ～」と副題に「東金市消費者行政活性化シンポジウム」が開かれました。

詳細は、後日改めましてお知らせしたいと思います。しかしながら、今回は画期的なシンポジウムとなりましたのでここに速報でお知らせしたいと思います。

今回のシンポジウムでも、市の消費者行政の柱として、消費生活相談窓口の充実を求める声がパネルディスカッションの中でパネラーの皆さんから上がりました。満場一致で採択された提言の中にも盛り込まれています。東金市は、周辺で市制施行の後発の八街市が既に消費生活センターを設置し、山武市が来年度は消費者相談窓口のセンター化を決めている中で、相談日は週に1回、2名の相談員が隔週で勤務という状態で後塵を拝しております。この点について、東金市消費生活苦情相談員の渡辺さんがパネルディスカッションで訴えられ、日頃のご苦労とその中で市民の消費者被害の救済のために働かれている様子を垣間見る事ができました。他のパネラーの皆さんもこの点を後押しする発言をしていただきました。パネルディスカッション終了後、東金市区長会連合会会長織本氏から提言を受取られた、志賀直温東金市長から次のような言葉を頂きました。

「私自身が恥ずかしながら東金市が（相談の体制において）こういう低レベルな状況にある事を把握しておりませんでした。しかしながら、せっかくここまで皆さんがお骨折を頂き、提言を頂きました。ここで改めて私から宣言させていただきます。

間違いなく、できれば1年以内に消費生活センター化を、まず窓口の体制としてしっかりやっていく。P I O - N E Tの導入も含めてです。また、（消費者教育推進）地域協議会、これについても取り組みを進めていく覚悟を決めました。

改めて、ここに担当の産業振興課長はじめ皆おりますので、壇上から指示を出させていただきます。是非、これについて県下で後れをとらないように対応していく事。ここに指示します。よろしくお願いします。」



この様に明快な決意表明を頂いたシンポジウムで、本年度の提案事業を締めくくられました事、志賀市長をはじめ、東金市の皆さんに心より御礼申し上げます。